

平成30年度後志の研究活動

研修部長 京極町立京極小学校

校長 根井 朗 夫

1. はじめに

後志小中学校長会は、小樽市を除く後志管内19町村の公立小中学校に所属する63名の会員で組織されている。

本会は地区を単位に四つのブロックに分け、地区ブロックごとに主題に関わる共通の研究領域を設定して研究を推進している。各地区ブロック研究交流会を経て、その成果を後志小中学校長会研究大会につなげることで、研究主題解明に取り組んでいる。



2. 研究計画

(1) 研究主題

『成長の連続性を深め、つなげる学校経営の推進と校長の在り方』

(2) 研究主題設定の理由

後志小中学校長会は子どもの成長の連続性と広がりに着目して、「教育課程を核とした計画的な実践推進を“連続性”とし、小中連携や地域社会の協働体制まで広げる学校経営を、“広がり＝つながり”として、昨年、第15次3か年研究をスタートさせた。

2年次目、今年度の研究は、子どもの成長の連続性の「深まり」と「つながり」を、より明確に意識するため、研究主題に「深め」を加えた。研究内容については、子どもの成長が途切れず連続していくことを前提として、その成長をより「深め」ていく視点を縦軸、広げ「つなげ」ていく視点を横軸として、「深める」については研究の視点Ⅰ“教育課程”から、「つなげる」については研究の視点Ⅱ“連携・接続”から迫ろうとしたものである。

各ブロックでの経営実践交流を基に互いに理解を深め、校長に求められる理念、見識や組織をリード・マネージする経営力など、我々の資質・能力を振り返り、高めていく。また、本年次は3か年継続研究の2年次目として、更なる研究の深化と成果の積み重ねを図るとともに、校長としてどのようにリーダーシップを発揮するか視点で研究を進める。学校経営の責任者である校長の果たすべき役割と指導性を、本主題を基に究明しようとするものである。

(3) 研究の重点

- ①町村、ブロック研究組織を生かし、年次計画を明らかにした中で組織的・継続的な研究の充実を図ること
- ②研究成果を、経営課題、教育課題の究明と経営ビジョンの構築に生かすこと
- ③研究成果を、課題解決に向けた手だての実践に生かすこと

(4) 研究計画

- ①後志小中学校長会研究大会を開催
- ②各ブロックにおいて「ブロック研究交流会」を開催
- ③「研究の手引き」、「研究紀要」の発行
- ④全道・全国大会への積極的参加と全道・全国大会提言のためのプロジェクト活動の推進

3. 研究の概要，研究活動など

(1) ブロック研究交流会

ブロック	開催日	開催地	研究領域	提言者(所属)
南	9月25日(火)	黒松内町	連携・接続	山崎 貴志 校長(蘭越小学校) 木村 和義 校長(寿都中学校)
山麓	9月26日(水)	喜茂別町	教育課程	渋谷 順一 校長(西小学校) 五十嵐邦春 校長(喜茂別中学校)
岩宇	9月26日(水)	神恵内村	連携・接続	中田 亨 校長(岩内東小学校) 村上 俊一 校長(泊中学校)
北	9月25日(火)	余市町	教育課程	中田恭太郎 校長(古平小学校) 庵 健司 校長(美国中学校)

(2) 後志校長会研究大会

◇期 日：10月23日(火)

◇場 所：京極町公民館・湧学館

◇助言者：北海道教育庁後志教育局義務教育指導監 小 関 文 雄 様
北海道教育庁後志教育局教育支援課長 軽 部 恭 子 様
北海道教育庁後志教育局義務教育指導班主査 猪 子 政 文 様

分科会		研究領域	提言者	研究課題
第1分科会	小学校 課題1	山麓 教育課程	倶知安町立西小学校 校長 渋谷 順一	「知性や人間性を育む社会に開かれた教育課程の創造」
	小学校 課題2	南 連携・接続	蘭越町立蘭越小学校 校長 山崎 貴志	「より良い社会づくりに向け、チーム力を高める連携・接続」
第2分科会	中学校 課題1	北 教育課程	積丹町立美国中学校 校長 庵 健司	「知性や人間性を育む社会に開かれた教育課程の創造」
	中学校 課題2	岩宇 連携・接続	泊村立泊中学校 校長 村上 俊一	「より良い社会づくりに向け、チーム力を高める連携・接続」

(3) 全国連合小学校長会研究協議会大会・北海道小学校長会教育研究大会

◇期 日：10月4日(木)・5日(金)

◇場 所：函館市

◇研究領域：Ⅱ教育課程 第4分科会「知性・創造性」

◇提言者：喜茂別町立鈴川小学校長 中村 和男

「しなやかな知性と豊かな創造性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の指導性について」

4. おわりに

今年度は3年次研究の2年次目として、研究主題解明に向け、研究の視点Ⅰ「知性や人間性を育む社会に開かれた教育課程の創造」と、研究の視点Ⅱ「より良い社会づくりに向け、チーム力を高める連携・接続」を設定して研究を進め、管内各校の実践をもとに研究協議を深め、校長のリーダーシップの在り方について検証し、校長の果たすべき役割と指導性を明らかにすることができた。

今後は、本年度の研究を土台として、3年次目、まとめの研究を推進するとともに、全道・全国校長会の研究趣旨に添い、それぞれの地域性を生かした取組を進め、後志管内全体の子どもの向上につなげていきたい。